



統計をみよう

関東農政局統計部
平成22年7月9日公表

農業経営統計調査 平成21年産 小麦生産費(個別経営、全国)結果概要

結果概要

平成21年産小麦の10a当たり資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という。)は6万267円で、前年に比べ1.8%減少した。

10a当たり全算入生産費が減少したのは、物財費は増加したものの、労働費が減少したこと等による。

平成21年産小麦生産費(10a当たり)

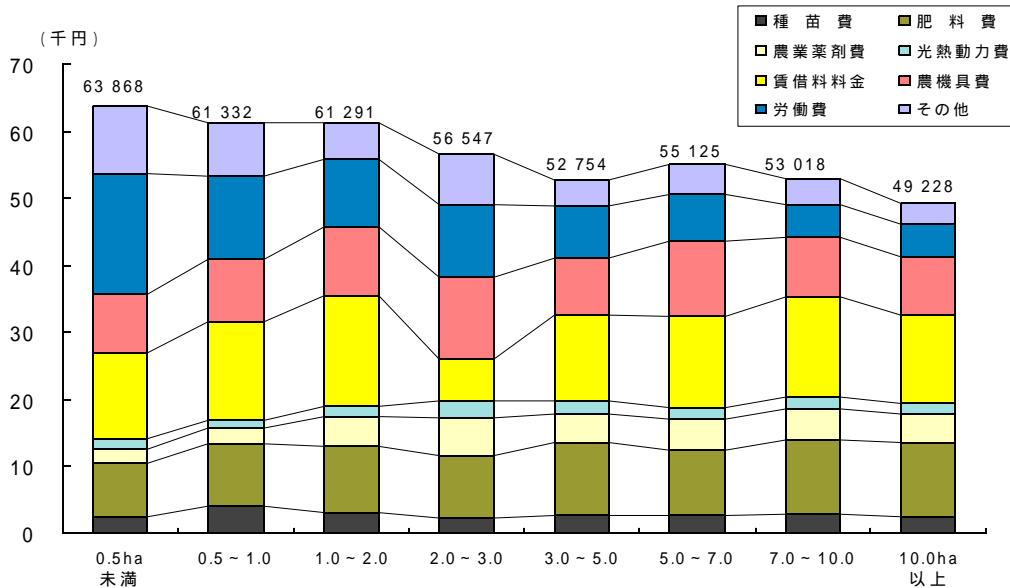
区 分		実 数	対前年増減率
		円	%
生 産 費	物 財 費	4 6 1 3 2	0 . 3
	うち賃借料及び料金	1 3 4 9 3	7 . 4
	肥 料 費	1 0 8 0 3	2 3 . 7
	労 働 費	5 8 1 9	2 . 8
	費用合計	5 1 9 5 1	0 . 0
	生産費(副産物価額差引)	4 8 1 9 6	2 . 0
	支払利子・地代算入生産費	5 1 9 5 5	1 . 4
	資本利子・地代全額算入生産費	6 0 2 6 7	1 . 8
収 量 (kg)	3 5 9	2 1 . 4	
注) 1経営体(戸)当たり作付面積 (a)	6 6 4 . 4	1 . 2	

注：経営体とは、2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行う経営体のことであり、調査対象の範囲は従来と同じである。

作付面積規模別生産費(21年産、10a当たり)

生産費は、作付面積規模にほぼ比例し低くなっている。
特に労働費は作付面積規模による差異が顕著となっている。

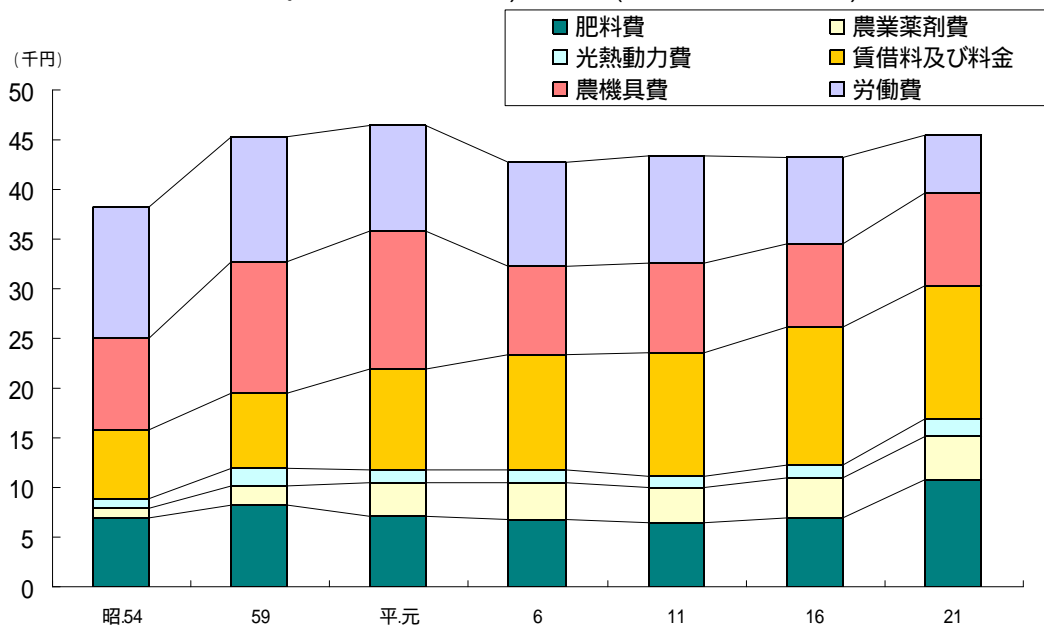
作付面積規模別生産費(21年産、10a当たり、全国)



費目別の推移

費目別の推移をみると労働費が減少している反面、賃借料及び料金が増加している。また、肥料費については、価格の高騰により増加している。

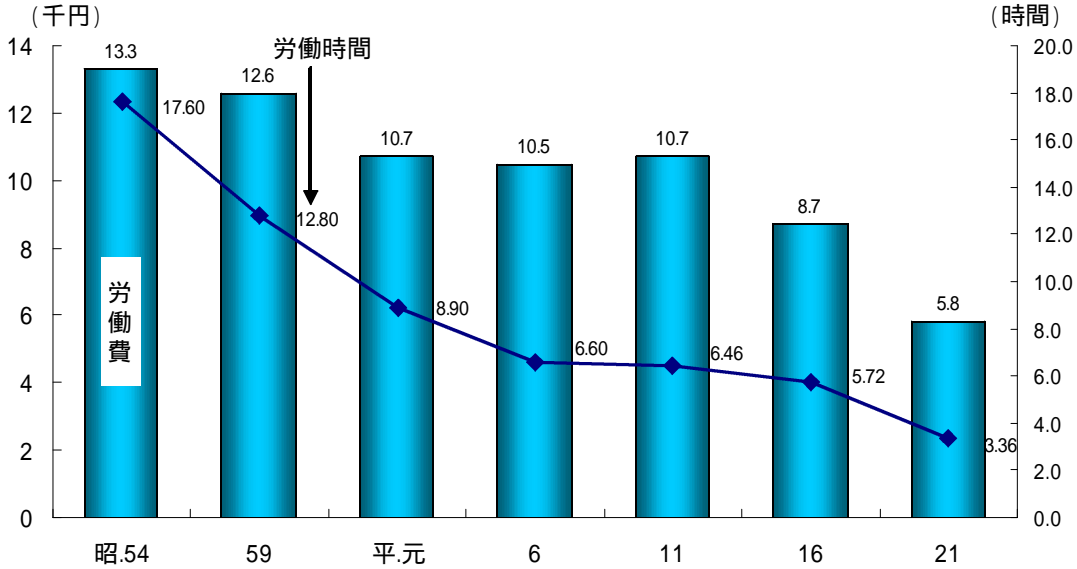
生産費(費目別費用合計)の推移(10a当たり、全国)



労働時間、労働費

労働時間は機械化の進展等により年々減少しており、これに伴い労働費も低下している。

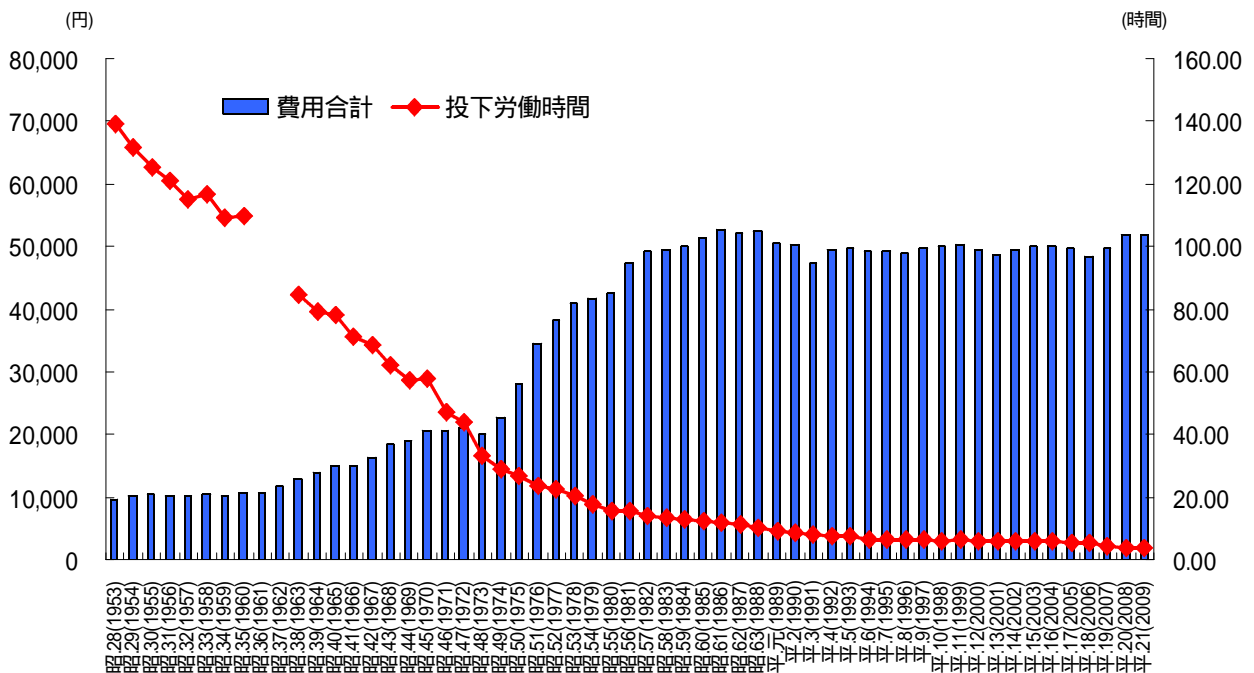
労働時間、労働費の推移(10a当たり、全国)



生産費(費用合計)の推移

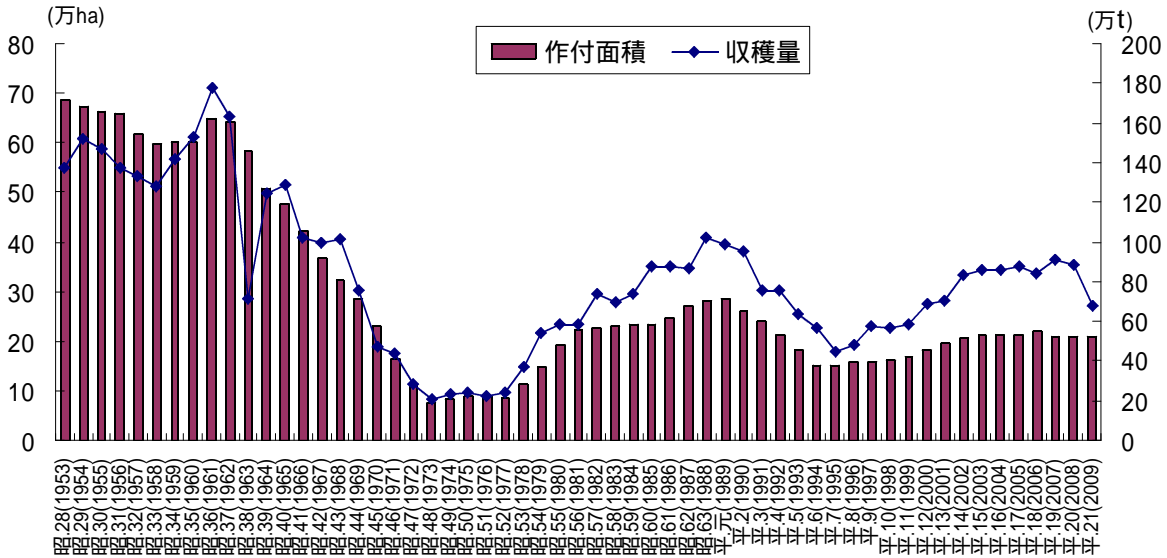
長期間の生産費(費用合計)の推移をみると、近年は、ほぼ横ばいとなっている。

生産費(費用合計)の推移(10a当たり、全国)



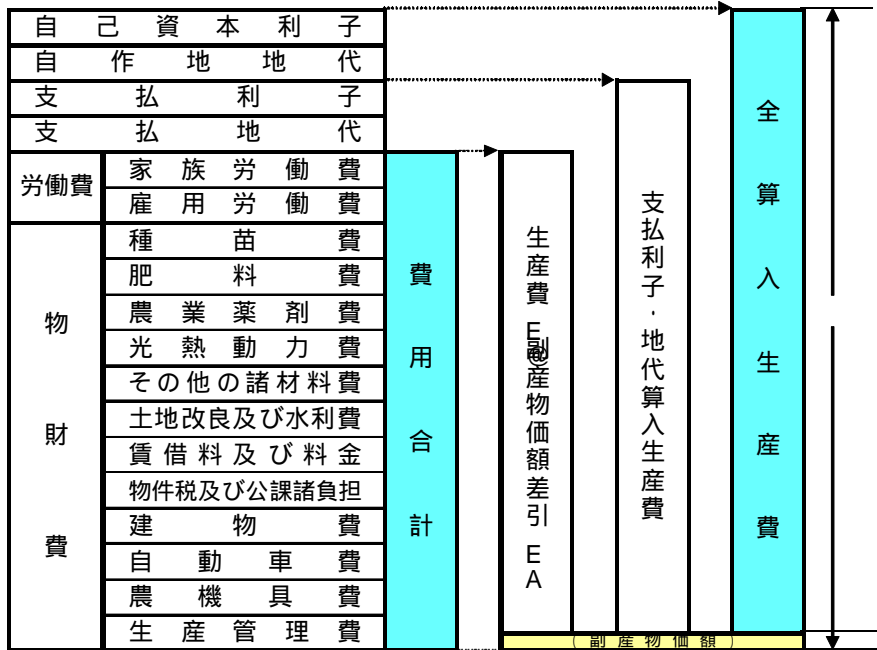
【 参 考 】

小麦の作付面積の推移



【 参 考 】

農産物の一定単位量の生産のために消費した経済費用の合計



生産費 = 費用合計 - 支払利子・地代算入生産費 + 副産物価額
 (生産費は、主産物生産に要した費用を計上するため、副産物価額は副産物にかかった費用とみなし から差し引く。)